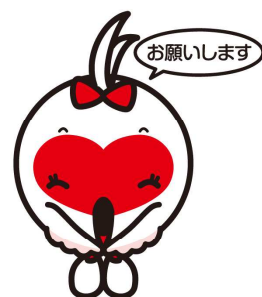


先生方へ

【「にいがたスクールエコ運動」の継続に向けて】

- ◆「にいがたスクールエコ運動」は、かけがえのない地球環境を守る意識と実践力を身に付けた児童生徒の育成を目指して、新潟県教育委員会が取り組んでいる運動です。
- ◆平成14年度から始めたこの運動は、各学校の主体的な取組により、平成17年度には、県内すべての小学校、中学校、特別支援学校、中等教育学校で実施されました。
- ◆県の事業としての運動は、平成17年度で終了しましたが、各学校での「にいがたエコスクール運動」は継続しています。
- ◆これまでの取組の成果を生かして、学校における省エネ、省資源、自然環境保全等の取組を今後も続けていくことが大切です。

◆持続可能な社会の構築を目指し、「にいがたエコスクール運動」を今後も一層進めていくため、本ホームページの活用をお願いします。



【参 考 資 料】

<平成17年度「にいがたエコスクール運動」実施及び認定状況>

年 度	校 種	実施校	認 定	準認定	非認定
17年度	小学校	573校(100%)	404校(70.5%)	169校(29.5%)	0校(0%)
	中学校	241校(100%)	160校(66.4%)	81校(33.6%)	0校(0%)
	中等教育・特別支援学校	30校(100%)	17校(56.7%)	13校(43.3%)	0校(0%)
	合 計	844校(100%)	581校(68.8%)	263校(31.2%)	0校(0%)

※数字は校数

※（ ）内は各校種別総数及び全学校数（小573校、中241校、中等教育学校・特別支援学校30校、計844校）に占める割合（%）

【このホームページの使い方など】

◆ホームページの特徴について

- ・児童生徒が実際の活動で活用できるシート形式です。
- ・「もくじ」を見ると、全体の構成や内容がわかります。
- ・各プログラムごとに、チェック・プラン・ドゥー・シーのシートがあるので、活用することができます。
- ・シートを児童生徒に渡す場合は、必要な部分をプリントアウトし、増し刷りして使ってください。
- ・二酸化炭素排出量の算出がしやすいように、電力使用量や水道量に関する計算式などには、数値を入力すると自動的に計算される機能がついています。

◆使用に際して

- ・それぞれの学校の実情に応じ、実際の活動の内容や進行に合わせて、プリントアウトしたシートの形式等を変えたり、説明を補ったりして工夫して使用することができます。
- ・方法についても、例えば、ごみの減量プログラムでは、可燃ごみを取り上げていますが、地域の分別の仕方に応じて、対象とするごみの種類を学校で決めて取り組むことができます。

◆画面表示などについて

- ・カラー画面は、白黒でプリントアウトすると薄くプリントされる場合があります。
- ・「計画を立てよう」「行動宣言をしよう」「取組を記録しよう」のシートは、画面に出るクリックボタンをクリックすると表示されます。
- ・「先生方へ」「Q & A」は、表示に多少時間がかかります。
- ・字体は、画面で見やすいように太字にしていますが、プリントアウトすると少しにじんだように見えます。
- ・ の記号を、カタカナで表しています。同じ記号は、同じ数値が入ります。

【取り組む時期について、配慮した方がよいことは？】

ホームページのマニュアルに従って電気や水道の使用量を前年度の同月期と比べようとする、次のようなことで児童生徒の取組の成果がプラスとして出てこないことがあります。

◆社会体育で、グラウンドや体育館を地域の方に貸し出している場合

- ・体育館やグラウンドのナイター施設は使用量が多いので、昼間の照明に関する省エネ活動の成果が使用量の減として反映されるのは難しいといえます。

(電気の配電が校舎とグラウンド等とで別になっている場合は、児童生徒が主に使う校舎の電気使用量を知ることができます。)

◆プールの使用期間の場合

- ・プールを使う時期も、年度によって、使用開始時期等が異なるので、前年度の同時期の使用量と比較しても、条件が異なり、省エネ活動の成果が使用量に反映されない場合があります。

◆冬期間の場合

- ・新潟県は、冬の間、雪が積もっているので、何か月かまとめて水道メーターの検針をする場合が多く、使用量の数値が正確にわかりにくい状況があります。また、冬期間は学年のまとめに入りますので、活動は、冬期間以外に実施すると比較的うまく進むと考えられます。

